

介護・福祉ネットみやぎ速報

発行者 NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ
責任者 渡辺 淳子

☎ 022-276-5202

022-276-5205



●NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ「2022 年度総会&記念講演」を開催しました！

6月16日（木）13時30分から16時までフォレスト仙台第2フォレストホールにおいて、「2022年度総会&記念講演」を開催しました。総会は正会員36人（本人出席19人・書面議決書17人）の参加で開催され、オンライン視聴も含め38人が傍聴しました

内館昭子理事長の開会挨拶の後、宮城県並びに仙台市からのご祝辞を紹介しました。

議案は、第1号議案2021年度事業報告承認の件、第2号議案2021年度決算報告承認の件、第3号議案2022年度事業計画及び活動予算決定の件、第4号議案役員選任の件について、渡辺淳子理事から一括して提案を行い、全議案とも満場一致で採択承認されました。議案採択に引き続いて、総会決議（案）が提案され、出席者全員の拍手で採択されました。



総会 内館昭子理事長の挨拶

総会に先立ち、総会記念講演として、市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰 小竹雅子さんを講師に『総介護社会～介護保険制度のこれまでとこれから』と題し、オンライン視聴も含め84人が参加しました。

「介護を社会全体で支えよう」と2000年に始まった介護保険は20年以上が経過しました。今後、要介護者の多い75歳以上が人口に占める割合が急増する時代を迎え、単身世帯の増加など家族の変化や、介護労働の現状を背景に、全世代をみすえ介護保険制度はどうあるべきか。電話相談（介護保険ホットライン）や、厚生労働省の審議会を傍聴し続けてきた中で、導入以来20年以上経過した介護保険の現在と将来像、また、コロナ禍で見えてきた制度の課題について最新のデータを基に現場からの声をすくい上げてきた市民の立場からご講演いただきました。



記念講演会 講師
市民福祉情報
オフィス・ハスカップ主宰
小竹雅子さん

ご講演では、誰もが年を重ねていくなかで、介護保険は不可欠である。だが、度重なる制度改正により、制度は複雑化し、政府が進めてきた給付削減、負担増が「保険あって介護なし」の事態をますます深刻にしている。「利用者の自己決定・自己選択」の制度なのになぜ利用者や家族が苦しむのか。少子高齢化がすすむ中、誰もが身近になりつつある「介護のある暮らし」について市民がともに考え、制度の持続可能性を求め、もっと大きな声で情報発信していく必要がある。と強く訴えられました。